

平成26年度 第38回全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

9

男子・女子 2回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 スカイホール豊田D コート

<u>小松市立</u>	<u>27</u>	<u>13 — 8</u>	<u>20</u>	<u>鹿児島南</u>
チーム名	総得点	7mTC	総得点	チーム名
		<u>14 — 12</u>		

今大会初戦となる小松市立は序盤から自分たちの力を発揮し、3番渡部の強烈なロングシュートで得点を重ね、開始8分で6-2と4点差をつける。対する鹿児島南は、ハイプレスのDFで渡部のロングシュートを封じてリズムを掴み、ポストの縦ブロックを活かしたOFで得点を重ね、前半22分、ついに同点に追いつく。そこから再び小松市立が息を吹き返し、サイドを使ったワイドな攻撃などで5連続得点。13-8で前半を折り返す。

後半に入ると、小松市立は引き続きコートを広く使いながら、バックプレイヤーのカットインにポストを絡め、全員で粘り強く攻める。そして、DFが低くなったところで再び渡部の強烈なロングシュート。鹿児島南もサイドシュートで得点を重ねるが、小松市立の分厚い攻撃を防げず、27-20で小松市立が勝利した。両チーム迫力ある攻撃の光るナイスゲームであった。小松市立の大エース渡部は17得点を挙げ、力の差を見せつけた。